

（問題用紙 4枚中 1枚目）

受験 番号

問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（解答は所定の解答欄に記入すること）

この部分は著作権の関係で公開できません。

この部分は著作権の関係で公開できません。

（問題用紙 4 枚中 3 枚目）

受験 番号

この部分は著作権の関係で公開できません。

（吉田徹『アフター・リベラル』講談社現代新書、二〇二〇年九月、

一四九～一五四頁より抜粋。表記等を一部改めて出題している。）

問一 傍線部（A）～（E）のカタカナをそれぞれ漢字に改めなさい。

問二 傍線部（a）～（e）の読み方をそれぞれひらがなで答えなさい。

問三 傍線部①「そうした事実」が指す内容を答えなさい。

問四 空欄Aに入る最も適当な語句を次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

ア 記憶 イ 内包 ウ 忘却 エ 本質

問五 傍線部②「想起させた」の主語を答えなさい。

問六 傍線部③「歴史は当初、国家に固有のものとして、国民の共同的な記憶や教育のために構築されてきた」とあるが、それはなぜか。その理由を最も端的に述べた部分を本文中から三十文字以内で抜き出して書きなさい。

二〇二二年度 長野看護専門学校 第一看護学科 一般入学試験（国語）

（問題用紙 4枚中 4枚目）

受験 番号

問七 傍線部④「人為的に歴史を創り上げ、集合的な記憶を再生産していく」とあるが、なぜそのようなことを行う必要があるのか。本文に即して簡潔に答えなさい。

問八 空欄Bに入る語を次のア～エから選んで記号で答えなさい。

ア しかし イ だから ウ つまり エ むしろ

問九 傍線部⑤「テ―ゼ」の意味として最も適当なものを、次のア～エから選んで答えなさい。

ア 仮説 イ 帰結 ウ 原理 エ 命題

問十 傍線部⑥「歴史とは作り上げられるもの、誤解を恐れずにいえば「フエイク」であるからこそ、それは称賛や恣意的な操作の対象となる」とはどういうことか。本文に即して簡潔に説明しなさい。

問十一 空欄Cに入る語を次のア～エから選んで記号で答えなさい。

ア 裏を返せば イ 裏をかけば ウ 面を起こせば エ 面を曝^{さら}せば